

グミとガム-前編



口寂しい時、グミとガムのどちらを選びますか？ ポーチの中に、ハンカチよりもグミが確実に入っている私にとって答えは決まっています。

グミは、子どもの食べ物！という時代は変わり、スマートに企画書を書きこなす大人のお口には、ガムではなくグミが放り込まれることも珍しくない時代がついに来たのです。

グミ市場は、ここ約 10 年にかけて大きく伸長を続ける一方で、10年前にグミの約3倍の市場規模だったガム市場は苦戦中だそう。

グミとガム、どちらも口寂しいときのお供であることには変わりないのですが、何が命運の差を分けたのでしょうか。調べてみると面白いことに、コロナ禍の前後2段階で変化が見られたので、これからそれぞれ紐解いていきます。

グミとガムの逆転時代

はじめに、コロナ流行前の話をします。2018 年は、グミ第一次ブームの到来でした。なんと、グミの市場規模は 411 億円と4年前の 1.4 倍へと拡大したのです。一方で、ガムは 2018 年の段階でグミよりも約 2.2 倍の商品数が市場に出回っているにも関わらず、縮小傾向に歯止めが利かない状態でした。

その大きな差をつけた理由は何なのでしょう。

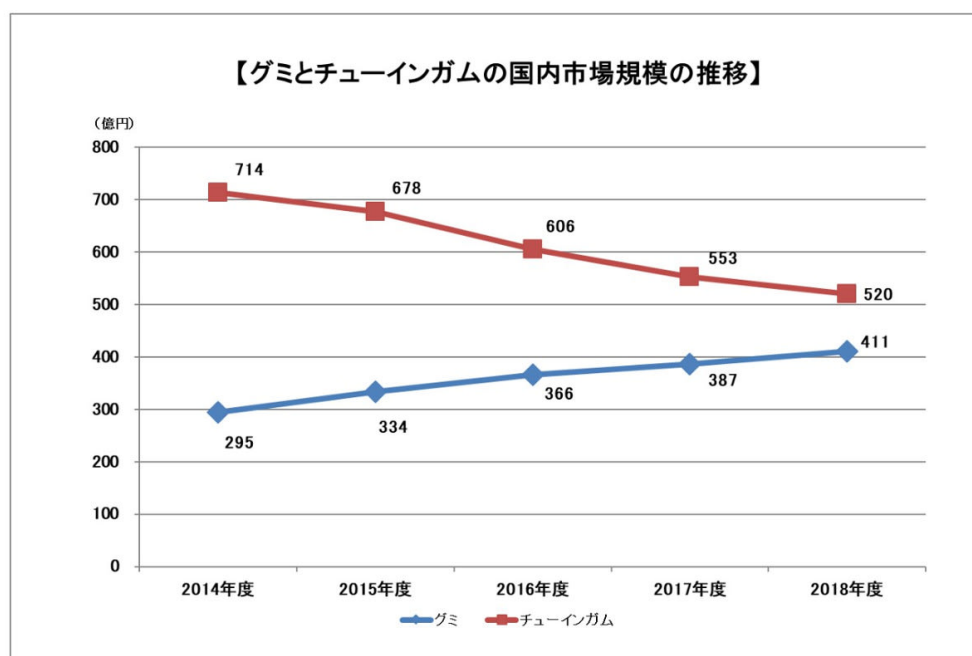
その理由は、商品のヒット性が挙げられます。

ガムは『虫歯防止』や『口臭予防』を謳ったキシリトール以降、目立ったヒット商品が生まれず
ニュース性に苦戦していました。

対して、グミは、高弾力の『TOUGH』や(今記事をしたためながら、筆者は TOUGH グミを食べ
ています。ハードな噛み心地が集中力をもたらすとのこと)これまでにない食感で話題となっ
た『コロロ』など、様々な食感やフレーバーを楽しむグミの展開が広がったことで話題を生みま
した。2018 年当時、グミはガムの市場を抜く時代も遅くはないだろうと予想がたてられ、盛り
上がりを見せていました。



画像左:タフグミ/カヤバ食品 、 画像右:コロロ/UHA 味覚糖



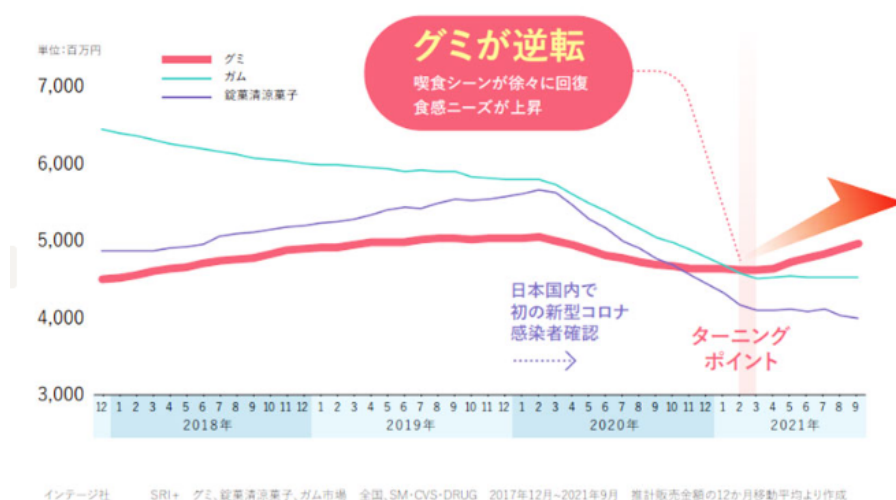
(注) 2014年4月～2019年3月。全国のスーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストアが対象。

(出所) インテージ調べ

しかし、グミの幸先が良いと思われた矢先に…コロナ襲来です。コロナが流行したことで『口に直接手づかみで食べるもの』である両者はともに打撃を受け、グミかガムか、など言うてはいられない状況となるかと思われました。

もともと、20年のグミ市場は、外出時のオンタイムにおける需要が大きく落ち込み前年割れとなっています。しかし、驚くことに、このままグミ市場が落ち込むと思いきや、21年以降は、自宅での喫食シーンが増えたことでV字回復を遂げて、コロナ禍でもより一層成長を続けたのです。第二次グミブームの幕開けです。

自宅でグミを食べるということが、コロナ前からのグミ流行により習慣化されていたことが理由とされています。しかし一方で、ガムは『口に入れたものを吐き出す』ことに抵抗を感じる人も多く、コロナ禍をきっかけにより一層ユーザーが離脱する傾向でした。そして、ついにコロナ禍でグミとガムの市場は21年の夏に逆転したのです。



(＊ インテージ調査(明確に))

インテージ社 SRI+グミ、錠菓清涼菓子、ガム市場、全国、SM・CVS・DRG
2017年12月-2021年9月 推計販売金額の12カ月移動平均

グミは誰が買い、どこで売れているか？

コロナ禍のグミブーム拍車をかけたものは、『YouTube』や『TikTok』において変わったグミが紹介されたこともあります。

なかでも、韓国の YouTuber が ASMR の動画を投稿したことで 21 年に大流行した『地球グミ』が象徴的です。そもそも ASMR 動画とは、「Autonomous Sensory Meridian Response」とい

う英語の略です。なかなか覚えられない……。読み方は、そのまま読む「エー エス エム アール」か、英語読みの「アスマー」かに分かります。

ASMR を簡単に説明すると、アイスを食べた時の「シャリシャリ」という音や、包丁で人参を着るときの「トントン」といった音など心地よかったり、ちょっとゾクゾクするような音のことを高性能マイクを通して動画コンテンツとして届けることを示します。

地球グミは、4 粒入りで定価 594 円となかなかいいお値段なのですが、その鮮やかな見た目のインパクト性から、こぞって YouTuber が波及的に紹介したことで SNS 上で話題になり、手に入らないグミとして Z 世代を中心に話題を博しました。

こうした売れ方は、ガムにはない全く新しいものでした。

今回は、グミの売れ方とガム市場との比較を通して、これからの「買うこと」の構造に触れてみます。